

## 平成 28 年度 北山公園生物調査 秋期結果の概要

2017/2/4 特定非営利活動法人 NPO birth

## 【概要】

- ・調査の内容は、両生・爬虫類、水生昆虫類、トンボ類、希少植物、その他
- ・4月～1月まで、12回の現地調査を実施。
- ・希少種として動物 17 種、植物 8 種を確認。
- ・注視すべき外来種として、動物 6 種、植物 10 種を確認。

表 1 希少種の一覧 (3ヶ年)

	種名	環境省 レッドデータブック	東京都 レッドデータブック	備考
植物	イチョウウキゴケ	NT		
	シャジクモ	VU		
	ミズハコベ		EX	
	アズマツメクサ	NT	EX	
	オオアブノメ	VU	CR	
	カワチシャ	NT		
	キクモ		VU	
	ウリカワ		DD	
	オオタカ	EN	NT	食痕
動物	アオダイショウ		NT	北川のみ
	シマヘビ		VU	
	トウキョウダルマガエル	NT	EN	
	ニホンアマガエル		VU	
	シュレーゲルアオガエル		VU	
	ニホンアカガエル		EN	
	ドジョウ	DD		
	シオヤトンボ		VU	
	ハラビロトンボ		VU	
	チョウトンボ		VU	
	オナガサナエ		NT	
	ウチワヤンマ		NT	
	オオアメンボ		VU	北川のみ
	コハンミョウ		NT	
	キンヒバリ		DD	
	タンボココロギ		DD	

表 2 注視すべき外来種の一覧 (3ヶ年)

	種名	カテゴリ
植物	オオフサモ	特定外来生物 緊急対策外来種
	オオカワチシャ	特定外来生物 総合対策外来種
	アマゾンチカガミ	重点対策外来種
	オオブタクサ	重点対策外来種
	セイタカアワダチソウ	重点対策外来種
	オランダガラシ	重点対策外来種
	ボタンクサギ	
	ワルナスビ	
	トウネズミモチ	重点対策外来種
	シュロ	総合対策外来種
動物	アライグマ	特定外来生物 緊急対策外来種
	ハクビシン	重点対策外来種
	アカミミガメ	緊急対策外来種
	ウシガエル	特定外来生物 重点対策外来種
	アカボシゴマダラ	重点対策外来種
	アメリカザリガニ	総合対策外来種

※赤字は昨年度記録がなかったもの

## 絶滅危惧種カテゴリ

EX: 絶滅 CR: 絶滅危惧 I A類 EN: 絶滅危惧 I B類  
 VU: 絶滅危惧 II類 NT: 準絶滅危惧  
 DD: 情報不足



アズマヒキガエル

## 【両生・爬虫類】

- ・北川にてアズマヒキガエルの成体を 1 個体確認。
- ・しょうちゃん池付近でウシガエルの幼生を多数確認した。

## 【水生昆虫】

- ・トンボ類を 7 種、アメンボ類を 4 種、甲虫類を 4 種、合計 15 種を確認 (1 種は外来種)。
- ・在来 14 種のうち 10 種は一時的水域を利用する種、幼虫期間が短い種、乾田に耐える種のいづれかであった。
- ・残る 4 種はある程度安定した水域を必要とする種で、北川、しょうちゃん池、水田の土水路での確認であった。



アメンボ



ハグロトンボ幼虫



キベリヒラタガムシ

### 【トンボ類】

- ・9月のルートセンサスにおいて、延べ1,155個体のアキアカネを確認。水田や菖蒲田の広範囲で産卵行動が見られた。
- ・10月の調査において3種のアカネ属（アキアカネ、マユタテアカネ、ミヤマアカネ）を確認。ミヤマアカネは日本産アカネ属で唯一の流水性の種である。



アキアカネ



マユタテアカネ



ミヤマアカネ

### 【植物】

- ・夏までに確認したウリカワ 240株について、秋期も引き続き100株以上を確認。
- ・昨年度に引き続きキクモを確認。10株以上が生育していた。
- ・しょうちゃん池の周囲や民有地の一部において、セイタカアワダチソウを確認。



ウリカワ



キクモ

### 【その他】

- ・菖蒲田内でタヌキ、アライグマ、ハクビシンの足跡を確認した。



タヌキの足跡



アライグマの足跡